

科目名	暮らしの中の憲法				担当者	ヨネタニミツマサ 米谷光正						
区分	選択	2	単位	授業回数	15	回	授業 形態	講義	学年	2年	開講期	後期
				授業時間数	30	時間						
教員との連絡方法 質問等の受付方法		教務課を通して連絡										
専門的 学習成果	①	国家と憲法との関係を理解し、説明することができる。										
	②	憲法の意味を理解し、論じることができる。										
	③	国民主権・平和主義・人権尊重主義を理解し、説明することができる。										
	④	基本的人権について理解し、論じることができる。										
	⑤	自由権や社会権について理解し、説明することができる。										
	⑥	三権分立の意味が理解し、説明できる。										
	⑦	地方自治の本質が理解し、説明できる。										
汎用的 学習成果	(1)	教育者としての資質も向上させることができる。(専門的学習成果の①～③に関連)										
	(2)	国民としての権利・義務を認識し、主体的に行動できる(専門的学習成果の④⑤に関連)										
	(3)	国家機関の関係を理解し、説明できる(専門的学習成果の⑥⑦に関連)										
	(4)	人として生きる意味を理解し、社会生活にいかすことができる(専門的学習成果の①～⑦に関連)										
授業概要	日本国憲法を取り巻く状況は、今世紀に入ってから急激に変化している。そのため、未来志向の議論をすすめることは大切である。本講義においては、他の法律との関係も重視しながら、教育の現場で働くことの注意点についても解説していきたい。											
評価方法 基準等	学習成果	種別	割合 (%)	評価方法・基準								
	専門的 学習成果	定期試験	70	これまでの学習内容に基づき、評価を行う。								
		レポート										
		平常点	30	積極的に授業へ取り組む意欲や態度について評価する。								
	汎用的 学習成果	(1) は専門的学習成果①～③で評価を行う。 (2) は専門的学習成果④⑤で評価を行う。 (3) は専門的学習成果⑥⑦で評価を行う。 (4) は専門的学習成果①～⑦で評価を行う。										
テキスト 等	著者・編集者名	書名				出版社名						
	渡辺信英 編	『日本国憲法』				南窓社						
参考書 参考文献	著者・編集者名	書名				出版社名						
	山下・宇賀 代表	『ポケット六法 平成31年または最新版』				有斐閣						
①準備学習等履修上の留意点 ②課題に対するフィードバックの方法等		①教科書・六法は必ず持参すること。授業中の態度も評価する。 ②ノートは必ず取るのが大切である。毎回の授業で復習も行う。										

授業計画			学習成果の評価
1回	授業内容	国家と憲法	毎回授業開始前後に復習のために質問をしていき、各学生の理解を深めていく。
	学習成果	国家の構成要素が理解できる	
2回	予習復習の内容	憲法の意味を理解する	
	授業内容	憲法の成立	
3回	学習成果	改正手続きを理解することができる	
	予習復習の内容	憲法史を理解する	
4回	授業内容	国民主権・平和・人権尊重主義	
	学習成果	三大原理が理解できる	
5回	予習復習の内容	憲法の基礎を理解する	
	授業内容	基本的人権の主体	
6回	学習成果	人権の内容が理解できる	
	予習復習の内容	人と法人の相違を理解する	
7回	授業内容	基本的人権の限界と幸福追求権	
	学習成果	人権の制約原則が理解できる	
8回	予習復習の内容	人権には限界があることを理解する	
	授業内容	法の下での平等	
9回	学習成果	「法の下」と「平等」の意味を理解することができる	
	予習復習の内容	判例による理解を進める	
10回	授業内容	精神的自由権 19条及び20条	
	学習成果	政教分離の必要性を理解することができる	
11回	予習復習の内容	判例の分析を理解する	
	授業内容	精神的自由権 21条及び23条	
12回	学習成果	自己実現・統治の考え方を理解することができる	
	予習復習の内容	表現の自由の大切さを理解する	
13回	授業内容	人身の自由	
	学習成果	なぜ体罰は禁止されるのかを理解することができる	
14回	予習復習の内容	人としての尊厳を理解する	
	授業内容	国務請求権	
15回	学習成果	人の救済方法を理解することができる	
	予習復習の内容	正当な裁判の大切さを理解する	
16回	授業内容	社会権	
	学習成果	生存権・教育権・勤労権を理解することができる	
17回	予習復習の内容	働くことの意味を理解する	
	授業内容	国会	
18回	学習成果	立法機関の意味を理解することができる	
	予習復習の内容	国家の意思の決定を理解する	
19回	授業内容	内閣	
	学習成果	行政機関の関係を理解することができる	
20回	予習復習の内容	行政組織を理解する	
	授業内容	裁判所	
21回	学習成果	司法権の役目を理解することができる	
	予習復習の内容	司法の独立を理解する	
22回	授業内容	地方自治	
	学習成果	地方自治の本旨を理解することができる	
23回	予習復習の内容	地方の問題点を理解する	

科目名	経済のしくみ				担当者	エ 衛 ト の フ 藤 ソ 総 イ 一						
区 分	選択	2	単位	授業回数	15	回	授業 形態	講義	学年	2年	開講期	前期
				授業時間数	30	時間						
教員との連絡方法 質問等の受付方法		授業前後に教室で受け付ける。										
専門的 学習成果	①	市場のしくみを理解し説明できる。										
	②	市場経済における企業行動を理解し説明できる。										
	③	政府の役割を理解し論じることができる。										
汎用的 学習成果	(1)	経済のしくみを理解し社会生活に活かすことができる。(専門的学習成果①②③に関連)										
	(2)	経済的諸問題について判断力を有し主体的行動をとることができる。(専門的学習成果①②③に関連)										
授業概要	私たちの暮らしは経済活動と深く結びついており、経済を見る目を養っておく必要がある。どんな経済現象にも基礎に共通する原理がある。この基礎原理を知ることが現実の経済問題を解く第一歩となる。市場のしくみ、市場経済における個人・企業の行動、政府の果たすべき役割について理解し、それらの経済活動と私たちの生活の関係を考える。需要と供給、企業戦略、貿易・為替、金融財政政策など経済の基礎知識や最新の経済ニュースも取り上げて説明する。											
評価方法 基準等	学習成果	種別	割合 (%)	評価方法・基準								
	専門的 学習成果	定期試験										
		レポート	70	経済のしくみを理解した上で、自分なりのテーマを見つけて論じられているかを評価する。								
		平常点	30	授業の態度・関心を評価する。								
汎用的 学習成果	(1) は専門的学習成果①②③で評価を行う。 (2) は専門的学習成果①②③で評価を行う。											
テキスト 等	著者・編集者名	書名									出版社名	
	岩田規久男	『経済学を学ぶ』									筑摩書房	
参考書 参考文献	著者・編集者名	書名									出版社名	
①準備学習等履修上の留意点 ②課題に対するフィードバックの方法等		①事前にテキストに目を通し、日頃から新聞・テレビ・ネットなどで経済についての報道に関心を持っておく。(45時間) 講義内容に関するレポートを作成する。(15時間) ②レポートについては講義内フィードバックを基に理解を深めていくこと。										

授業計画			学習成果の評価
1回	授業内容	価格をめぐって	授業の態度・関心を評価
	学習成果	価格決定のメカニズムを説明できる。	
予習復習 の内容	価格による分配について理解を深める。		
	2回	授業内容	
学習成果	経済学が想定する行動原理を説明できる。		
予習復習 の内容	私たちがどのように行動を決定しているか理解を深める。		
	3回	授業内容	
学習成果	経済学でいう合理的行動とは何か説明できる。		
予習復習 の内容	私たちは経済学の想定する合理的消費者といえるか考えてみる。		
	4回	授業内容	
学習成果	市場経済の特徴を説明できる。		
予習復習 の内容	社会主義国について調べておく。		
	5回	授業内容	
学習成果	専門化の利益について説明できる。		
予習復習 の内容	現代社会における専門化について理解を深める。		
	6回	授業内容	交換と分業
学習成果	交換と分業の必要性について説明できる。		
予習復習 の内容	交換を成立させる原理について理解を深める。		
	7回	授業内容	貨幣・銀行・商人・市場
学習成果	効率的に交換を行うための様々な制度について説明できる。		
予習復習 の内容	それぞれの制度の重要性について理解を深める。		
	8回	授業内容	比較優位
学習成果	職業選択や国際分業の原理を説明できる。		
予習復習 の内容	現実における比較優位の原理について考えてみる。		
	9回	授業内容	価格と資源配分
学習成果	価格によって様々な資源配分が決定されていることを説明できる。		
予習復習 の内容	市場が決定するものについて理解を深める。		
	10回	授業内容	価格と希少性
学習成果	価格の決まり方について説明できる。		
予習復習 の内容	価格が希少性を反映する場合・反映しない場合の結果を考えてみる。		
	11回	授業内容	需要と供給
学習成果	需要と供給の概念について説明できる。		
予習復習 の内容	需要・供給・価格の関係について理解を深める。		
	12回	授業内容	競争的市場
学習成果	競争的市場とその利点について説明できる。		
予習復習 の内容	現実社会の中で市場の果たす役割について理解を深める。		
	13回	授業内容	不完全競争市場
学習成果	不完全競争市場における企業行動について説明できる。		
予習復習 の内容	企業の様々な戦略について理解を深める。		
	14回	授業内容	自然的秩序形成
学習成果	市場の自然に秩序を形成するメカニズムについて説明できる。		
予習復習 の内容	自然的秩序形成に対する否定的意見も含めて理解を深める。		
	15回	授業内容	市場の失敗と政府の役割
学習成果	市場がうまく機能しない場合と政府の役割について説明できる。		
予習復習 の内容	経済政策などについて理解を深める。		
	レポート提出		

科目名	暮らしと科学				担当者	丸 山 穰						
区 分	選択	2	単位	授業回数	15	回	授業 形態	講義	学年	2年	開講期	後期
				授業時間数	30	時間						
教員との連絡方法 質問等の受付方法	授業の前後に教室で受け付ける。また、Eメールで随時受け付ける。オフィスアワーと研究室の場所、Eメールアドレスは初回授業の時に伝える。											
専門的 学習成果	①	科学的思考方法を説明できる。										
	②	普段の生活に科学が活用されていることを述べることができる。										
	③	科学的な観察眼や論理的思考方法に基づき行動できる。										
	④	「疑似科学」を見分けられるようになる。										
汎用的 学習成果	(1)	これまで学んできた科学の知識を総合的に実生活で活用できる。(専門的学習成果の①～④)										
	(2)	科学・技術の発展について自ら総合的に判断し、主体的に社会生活に活かす事ができる。(専門的学習成果の①～④)										
	(3)	論理的・客観的な思考を意識することで、他者の考え方を尊重し主体的行動をとりながら協働することができる。(専門的学習成果の①～④)										
授業概要	「科学」とは、生きるための基本的知識である。普段のあたりまえの行動も、日常生活で目にしていない事でも、科学の目をもって見れば意外な発見があります。知らずに過ごしているなんでもったいない。ちょっとした気付きでこれまでと違った風景が見えてきます。また、知って得する豆知識、毎日の生活の中でふと疑問に思ったこと、ニュースで話題になった技術や医療等、科学的出来事など、毎回の小レポートをもとに授業を展開します。											
評価方法 基準等	学習成果	種別	割合 (%)	評価方法・基準								
	専門的 学習成果	定期試験										
		レポート	50	最終課題レポートとして講義内容に関連した課題を用意する。話題の選択、文脈・内容・体裁・文字数・構成の工夫から理解度及び取り組みの姿勢を判断し、評価する。								
		小レポート	20	10回以上、小レポートを提出すること。書き方については授業中に説明する。								
	平常点	30	受講の態度、関心、意欲を評価する。									
汎用的 学習成果	(1)～(3)は専門的学習効果①～④で評価を行う。											
テキスト 等	著者・編集者名		書名						出版社名			
参考書 参考文献	著者・編集者名		書名						出版社名			
①準備学習等履修上の留意点 ②課題に対するフィードバックの方法等		①毎回、主にその週に起きた科学的・技術的話題について、関心を持ったこと、また、日頃の生活で疑問に感じた事や気づいた事を、小レポートとして提出してください(事前準備として週に3時間程度)。それをもとに授業を展開します。参加型の授業展開を行うので、積極的に参加していくこと。授業後には、1時間程度、振り返っての考察を行ってください。 ②小レポートや最終課題レポートは適宜解説を行う。										

授業計画			学習成果の評価
1回	授業内容	ガイダンス(授業の進め方と小レポートについて)	
	学習成果	科学的な考え方の概要を説明できる。	
2回	予習復習の内容	小レポートを作成する。学習内容を振り返り、日常生活に適用する。	
	授業内容	日常生活と科学、科学的思考ということ	
3回	学習成果	科学的な考え方の概要を説明できる。	
	予習復習の内容	小レポートを作成する。学習内容を振り返り、日常生活に適用する。	
4回	授業内容	化学反応について	
	学習成果	化学反応の概要を説明できる。	
5回	予習復習の内容	小レポートを作成する。学習内容を振り返り、日常生活に適用する。	
	授業内容	エネルギーについて	
6回	学習成果	エネルギーの概要を説明できる。	
	予習復習の内容	小レポートを作成する。学習内容を振り返り、日常生活に適用する。	
7回	授業内容	原子・素粒子・宇宙の起源	
	学習成果	原子・素粒子・宇宙の起源の概要を説明できる。	
8回	予習復習の内容	小レポートを作成する。学習内容を振り返り、日常生活に適用する。	
	授業内容	宇宙と生命	
9回	学習成果	宇宙と生命について概要を説明できる。	
	予習復習の内容	小レポートを作成する。学習内容を振り返り、日常生活に適用する。	
10回	授業内容	生物の進化ということ	
	学習成果	生物の進化について概要を説明できる。	
11回	予習復習の内容	小レポートを作成する。学習内容を振り返り、日常生活に適用する。	
	授業内容	遺伝子とバイオテクノロジー	
12回	学習成果	遺伝子とバイオテクノロジーについて概要を説明できる。	
	予習復習の内容	小レポートを作成する。学習内容を振り返り、日常生活に適用する。	
13回	授業内容	生命科学について・基本	
	学習成果	生命科学について概要を説明できる。	
14回	予習復習の内容	小レポートを作成する。学習内容を振り返り、日常生活に適用する。	
	授業内容	生命科学について・応用	
15回	学習成果	生命科学の応用について概要を説明できる。	
	予習復習の内容	小レポートを作成する。学習内容を振り返り、日常生活に適用する。	
16回	授業内容	日本の醸造食品の話(日本酒醸造を中心として)	
	学習成果	日本の醸造食品について概要を説明できる。	
17回	予習復習の内容	小レポートを作成する。学習内容を振り返り、日常生活に適用する。	
	授業内容	海と環境	
18回	学習成果	海と環境について概要を説明できる。	
	予習復習の内容	小レポートを作成する。学習内容を振り返り、日常生活に適用する。	
19回	授業内容	環境汚染と汚染物質	
	学習成果	環境汚染、汚染物質について概要を説明できる。	
20回	予習復習の内容	小レポートを作成する。学習内容を振り返り、日常生活に適用する。	
	授業内容	ITの話	
21回	学習成果	ITの話について概要を説明できる。	
	予習復習の内容	小レポートを作成する。学習内容を振り返り、日常生活に適用する。	
22回	授業内容	最近の話題・まとめ	
	学習成果	科学的な考え方の概要を説明できる。	
23回	予習復習の内容	小レポートを作成する。学習内容を振り返り、日常生活に適用する。	
	最終回	最終回に、これまでの科学的な話題や小レポートの内容に基づいた対話を行う。	

科目名	環境と自然				担当者	コイシカワ マサ ヒロ 小石川 正 弘						
区 分	選択	2	単位	授業回数	15	回	授業 形態	講義	学年	2年	開講期	前期
				授業時間数	30	時間						
教員との連絡方法 質問等の受付方法		授業の前後に講師室で受け付ける。										
専門的 学習成果	①	現代科学における物質観・宇宙観を理解し、概要を説明できる。										
	②	地球生態系としての自然環境を理解し、社会の在り方について討議できる。										
	③	日常生活の中での科学技術に関する諸問題を考察し、説明できる。										
汎用的 学習成果	(1)	幅広い教養を身につけ、将来にわたり好奇心を持ち続け、身の周りの現象について思考し、探求することができる。(専門的学習成果の①②)										
	(2)	現代社会における科学技術と関連する様々な課題について、主体的に判断し社会生活に活かすことができる。(専門的学習成果の②③))										
授業概要	現代科学で捉えられている自然像を、素粒子やクォークなどのミクロの世界から宇宙全体までのマクロの世界にわたって概観し、地球の現在とそこでの人類の在りようを考える。特に、私たちを包み込んでいる現在の地球環境は、宇宙進化と生物進化の帰結であることを理解したうえで、オゾンホールや二酸化炭素の増加による気候変動などの地球規模で進行する深刻な問題の意味を探る。また、人間は地球上で、生物種のヒトという立場で、地球生態系に属する立場にある視点から、地球環境との関わりを考察し、生物多様性や生態系保全の重要性を理解する。自然環境保全に向けてのいくつかの身近にある興味ある取り組みについても理解を深める。											
評価方法 基準等	学習成果	種別	割合 (%)	評価方法・基準								
	専門的 学習成果	定期試験										
		レポート	30	講義の展開に応じて、適宜、理解内容、文脈などで評価を行う。								
		平常点	20	授業の態度、関心、意欲を評価する。								
		筆記試験	50	第15回の授業後半に筆記試験形式で行い、講義全体の内容理解について評価を行う。								
汎用的 学習成果	(1) は専門的学習成果①及び②で評価を行う。 (2) は専門的学習成果②及び③で評価を行う。											
テキスト 等	著者・編集者名		書名				出版社名					
参考書 参考文献	著者・編集者名		書名				出版社名					
①準備学習等履修上の留意点 ②課題に対するフィードバックの方法等		①事前学習として、講義の内容ごと事前に配布する資料に目を通し、理解に努めること。特に、関心をもった点や疑問点を整理しておくこと(予習:週2時間程度)。 事後学習としては、紹介する文献等を参考にしながら、課題のレポートを記述すること(復習:週2時間程度)。 ②フィードバックとして、レポート回収後に、内容と評価について解説を行う。										

授業計画			学習成果の評価	
1回	授業内容	ガイダンス：講義の内容とねらい	レポート(現代科学の自然像について)第4回に実施	
	学習成果	本授業の内容を理解し、説明できる。		
予習復習 の内容	シラバスを事前に読み、その内容を理解する。ガイダンスの内容を踏まえて学習計画を立てる。			
	授業内容	自然の階層性：クォークから宇宙まで		
2回	学習成果	自然の階層性について、学習した内容を説明できる。		
	予習復習 の内容	自然界で関心のあることについて調べておく。		
3回	授業内容	ミクロの世界：現代の物質観		
	学習成果	現代の物質観について、学習した内容を説明できる。		
予習復習 の内容	原子・分子についての知識を整理しておく。			
	4回	授業内容		マクロの世界：現代の宇宙観
4回	学習成果	現代の宇宙観について、学習した内容を説明できる。		
	予習復習 の内容	地球、太陽系、銀河系についての知識を整理しておく。		
5回	授業内容	宇宙の進化・I 宇宙の始まりから銀河形成まで		レポート(宇宙の進化について)第8回に実施
	学習成果	膨張宇宙において銀河が形成される過程を説明できる。		
予習復習 の内容	配布資料の内容を理解し、整理しておく。			
	6回	授業内容	宇宙の進化・II 銀河系と星の誕生と死	
6回	学習成果	銀河系における星の誕生と死の過程を説明できる。		
	予習復習 の内容	銀河系・恒星についての知識を調べ、整理しておく。		
7回	授業内容	宇宙の進化・III 太陽系の生成と進化		
	学習成果	太陽系の生成と進化について、学習した内容を説明できる。		
予習復習 の内容	太陽系についての知識を調べ、整理しておく。			
	8回	授業内容	宇宙の進化・IV 地球の生成と進化	
8回	学習成果	地球の生成と進化について、学習した内容を説明できる。		
	予習復習 の内容	地球についての知識を調べ、整理しておく。		
9回	授業内容	地球生態系について・I 生命の起源	レポート(地球生態系について)第12回に実施	
	学習成果	原始地球における生命の起源について、学習した内容を説明できる。		
予習復習 の内容	配布資料の内容を理解し、整理しておく。			
	10回	授業内容		地球生態系について・II 地球大気の変化(酸素の変遷)
10回	学習成果	地球大気中の酸素の変遷について、学習した内容を説明できる。		
	予習復習 の内容	大気中の酸素についての知識を調べ、整理しておく。		
11回	授業内容	地球生態系について・III 地球大気の変化(二酸化炭素量の増加)		
	学習成果	地球大気中の二酸化炭素の変遷について、学習した内容を説明できる。		
予習復習 の内容	大気中の二酸化炭素についての知識を調べ、整理しておく。			
	12回	授業内容		地球生態系について・IV 生物多様性の危機
12回	学習成果	地球生態系における生物多様性の危機について、学習した内容を説明できる。		
	予習復習 の内容	生物多様性についての知識を調べ、整理しておく。		
13回	授業内容	東アジアにおけるハクガン復元計画		筆記試験(全15回分の内容を問う)第15回後半に実施
	学習成果	東アジアにおけるハクガン復元計画について、学習した内容を説明できる。		
予習復習 の内容	配布資料の内容を理解し、整理しておく。			
	14回	授業内容	蒲生干潟の生態系	
14回	学習成果	蒲生干潟の生態系について、学習した内容を説明できる。		
	予習復習 の内容	配布資料の内容を理解し、整理しておく。		
15回	授業内容	科学技術と私たち		
	学習成果	科学技術と私たちについて考察し、自己のあり方に反映できる。		
予習復習 の内容	講義全体について整理、確認を行い筆記試験に備えること。			

科目名	体育理論				担当者	金野麻衣						
区分	選択	1	単位	授業回数	8	回	授業形態	講義	学年	2年	開講期	前期
授業回数				授業時間数	16	時間						
教員との連絡方法 質問等の受付方法	オフィスアワーについては初回授業時に連絡する。授業に対する質問等は毎回授業の前後に教室にて受け付ける。											
専門的 学習成果	①	体育理論の様々な科学的知識を理解し、実践できる。										
	②	スポーツ活動・運動の合理的な実践方法や取り組み方など健康維持増進のための方法を実践できる。										
	③	一生涯充実した生活を送るための生活習慣の見直しと自分自身のライフスタイルの再構築を計画できる。										
	④	自分自身の健康管理のみならず、周囲の人々をサポートを提言できる。										
汎用的 学習成果	(1)	体育理論の科学的知識を理解し、健康に対する意識を高め社会生活にいかすことができる。										
	(2)	現代社会における運動の意義・役割を理解し、継続的に運動を導入する方法を検討することができる。										
	(3)	スポーツ活動・運動の合理的な実践方法を学び、より安全な取り組み方を理解する。										
授業概要	現代社会において私たちが良好な健康状態を保ち生活するためには、日常生活のなかで食事や睡眠、運動などのバランスに留意することが必要である。本授業においては、運動が心身に与える影響を理解し、さまざまな科学的・合理的知識を得ることで生涯にわたって「いかに長く健康を享受し、生き甲斐をつくり、豊かな老後を過ごすか」といった生活の質の向上と「健康寿命の延伸」につながる運動の導入方法について理解する。そして、生涯にわたって継続的に豊かなスポーツライフを送るために必要な各個人の資質を高めることをねらいとする。											
評価方法 基準等	学習成果	種別	割合 (%)	評価方法・基準								
	専門的 学習成果	定期試験	80	学習内容に基づき、記述式の問題を課し、評価を行う。								
		レポート	10	生活習慣の見直しと改善策を具体的な例を挙げ自分自身の意見を述べているかを観点に評価を行う。								
		平常点	10	積極的な授業態度・関心・意欲を評価する。								
汎用的 学習成果	汎用的学習成果の評価は、上記の通り専門的学習成果の評価により評価を行う。 (1) 専門的学習成果①で評価する。 (2) 専門的学習成果②③で評価する。 (3) 専門的学習成果②③で評価する。											
テキスト 等	著者・編集者名		書名				出版社名					
参考書 参考文献	著者・編集者名		書名				出版社名					
	公益財団法人 日本体育協会		『公認スポーツ指導者養成テキスト』				社走狗					
	佐藤祐造 柴田英治		『テキスト健康科学』				南江堂					
	大学生の健康・スポーツ科学研究会		『大学生の健康・スポーツ科学』				道和書院					
財団法人 健康・体力づくり事業財団		『健康運動実践指導者テキスト』				南江堂						
①準備学習等履修上の留意点 ②課題に対するフィードバックの方法等		①授業は、配布される参考資料をもとに進めていくかたちとなるため授業の中で配布された資料をもとにした復習を積極的に行うこと。また、次回の授業内容とされる範囲を予告するので関係するものに対する予習し、理解を深めておくこと。(予習復習：4時間程度) ②単元ごとの課題をもとに評価・解説し、全体に対するフィードバックし振り返りの時間を設ける。筆記試験答案用紙は後期授業開校期に返却する。										

授業計画			学習成果の評価
1回	授業内容	ガイダンス：スポーツの意義役割	本授業の振り返り（まとめ）：現代社会の変化
	学習成果	現代社会の変化の中でのスポーツ活動の意義・役割を理解する。	
2回	予習復習の内容	スポーツの意義・役割を自分自身の言葉で整理し、カテゴリーごとにわけてまとめる。	前回の授業の振り返り（復習となる練習問題） スポーツの意義・役割
	授業内容	身体活動と心身の健康	
3回	学習成果	運動が心身に与える影響を理解し、自分自身の生活習慣を見直す。	前回の授業の振り返り（復習となる練習問題） トレーニングの基礎的ルール、運動方法
	予習復習の内容	自分自身の生活習慣の見直し、具体的な例と改善策を挙げる。	
4回	授業内容	運動とトレーニング	前回の授業の振り返り（復習となる練習問題）：トレーニングの基礎的ルール、運動方法
	学習成果	トレーニングの基本的なルールや効果的な進め方等運動実践に関する理解を深める。	
5回	予習復習の内容	自分自身が興味がある運動を探し、実際に取り組む手段を検討する。	前回の授業の振り返り（復習となる練習問題）：トレーニングの基礎的ルール、運動方法
	授業内容	運動技能の習得と運動学習	
6回	学習成果	運動の効果的な学習方法、学習過程を理解し、運動の楽しむ方法を考察する。	前回の授業の振り返り（復習となる練習問題）：運動の学習過程
	予習復習の内容	運動学習を理解し、効果的学習について具体的な例を挙げることができるようにする。	
7回	授業内容	運動とからだの発育発達	前回の授業の振り返り（復習となる練習問題）：発育発達に合わせた運動導入
	学習成果	運動と発育発達の関係について理解し、適切な運動の導入方法を理解する。	
8回	予習復習の内容	心身の発育発達に合わせた働きかけ、指導方法について考察する。	前回の授業の振り返り（復習となる練習問題）：特殊環境下での対策
	授業内容	運動と安全（1）（特殊環境下での活動、対策）	
9回	学習成果	暑熱環境下、寒冷下における運動の安全な取り組み方と予防、対策を理解する。	前回の授業の振り返り（復習となる練習問題）：スポーツ医学 これまでの学習内容の中から確認としての総合的な筆記試験を実施する。配布資料をもとに復習をしておくこと。
	予習復習の内容	スポーツ環境、対象者に合わせた予防・対策について考察する。	
10回	授業内容	運動と安全（2）（スポーツ医学、応急処置）	前回の授業の振り返り（復習となる練習問題）：特殊環境下での対策
	学習成果	スポーツ現場で起きやすい内科的障害、外科的障害に対する応急処置を理解する。	
11回	予習復習の内容	対象者、スポーツ種目ごとの予防・対策について考察する。	前回の授業の振り返り（復習となる練習問題）：スポーツ医学 これまでの学習内容の中から確認としての総合的な筆記試験を実施する。配布資料をもとに復習をしておくこと。
	授業内容	まとめ：生涯スポーツの在り方	
12回	学習成果	まとめ：生涯スポーツの在り方	前回の授業の振り返り（復習となる練習問題）：スポーツ医学 これまでの学習内容の中から確認としての総合的な筆記試験を実施する。配布資料をもとに復習をしておくこと。
	予習復習の内容	現代社会の生涯スポーツに対する考え方を理解する。	
13回	授業内容	自分自身に合わせた豊かなスポーツライフの設計の考察する。	前回の授業の振り返り（復習となる練習問題）：スポーツ医学 これまでの学習内容の中から確認としての総合的な筆記試験を実施する。配布資料をもとに復習をしておくこと。
	学習成果		
14回	予習復習の内容		前回の授業の振り返り（復習となる練習問題）：スポーツ医学 これまでの学習内容の中から確認としての総合的な筆記試験を実施する。配布資料をもとに復習をしておくこと。
	授業内容		
15回	学習成果		前回の授業の振り返り（復習となる練習問題）：スポーツ医学 これまでの学習内容の中から確認としての総合的な筆記試験を実施する。配布資料をもとに復習をしておくこと。
	予習復習の内容		

科目名	健康スポーツ				担当者	金野麻衣						
区分	選択	1	単位	授業回数	15	回	授業形態	実技	学年	2年	開講期	後期
授業回数				授業時間数	30	時間						
教員との連絡方法 質問等の受付方法	オフィスアワーについては初回授業時に連絡する。授業に対する質問等は毎回授業の前後に体育館アリーナにて受け付ける。											
専門的 学習成果	①	様々なスポーツを通しての技術・ルールの理解のみならず、人間としてのマナー・エチケットに対する考えを育む。										
	②	基本技術を習得し、試合を通してスポーツ活動を親しむための総合的な運動技能を高める。										
	③	生涯にわたって、スポーツ活動を楽しむための創意工夫を行い、より積極的な意欲・資質を高める。										
	④	様々なスポーツ活動を通して、仲間と協力してグループ活動を行い人間関係の向上を図る。										
	⑤	自己やチームの課題を見つけて解決しようとする前向きな態度を養う。										
汎用的 学習成果	(1)	各スポーツ種目のルール・技術、活動する際のマナーに対する理解を深める。										
	(2)	様々なスポーツ活動を通して、活動を親しむための総合的な運動技能を高め、生涯にわたって運動を親しむための土台づくりをする。										
	(3)	個人・集団での課題を達成することでスポーツ活動を通しての人間関係の向上を図る。										
	(4)	健康の維持増進のためのスポーツ活動の取り組みについて理解する。										
授業概要	本授業においては、健康づくりのためのスポーツ・身体活動の意義・役割について各種目ごとの特徴をふまえて解説し、実技を通して、実際にその素晴らしさを経験する。試合形式での活動の中では、学生同士協力することで楽しさや喜び、悔しさを共に味わい、生涯にわたって継続的にスポーツ活動を親しむ能力や意欲、資質を高め、良好な人間関係を築く方法を検討する。更にスポーツの基本的な技能、ルール、マナーを身に付けることでスポーツに対する理解を深め、様々な運動の魅力を知り、実践による心身の健康維持増進に努めるための創意工夫をするなど実践力を身に付けていく。											
評価方法 基準等	学習成果	種別	割合 (%)	評価方法・基準								
	専門的 学習成果	定期試験										
		レポート	30	設定されたテーマに沿ったレポート課題の提出（提出期限厳守）について評価する。								
		平常点	30	個人、集団での活動に対する取り組みの姿勢・態度、他者への働きかけ等授業効果の向上への貢献（リーダーシップ含む）、出席状況による評価とする。								
	技能・知識の 習得度	40	基礎的な技能向上に向けた積極的な態度、課題達成に対する積極的な態度、試合運営管理（審判活動）について評価する。									
汎用的 学習成果	汎用的学習成果の評価は、上記の通り専門的学習成果の評価により評価を行う。 (1) 専門的学習成果①で評価する。 (2) 専門的学習成果①②③で評価する。 (3) 専門的学習成果④⑤で評価する。 (4) 専門的学習成果③④⑤で評価する。											
テキスト 等	著者・編集者名	書名				出版社名						
参考書 参考文献	著者・編集者名	書名				出版社名						
①準備学習等履修上の留意点 ②課題に対するフィードバックの方法等	①気候・内容に合わせた服装・シューズ（体育館：インシューズ）を準備し、アクセサリ類ははずして受講すること。活動中は、各種目のルールを理解し、仲間と協力し審判を含めた試合の管理運営を行いつつ、目標・課題に沿って積極的に参加すること。気象条件・人数に合わせた活動内容の変更等が生じる場合があることを理解したうえで参加すること。時間外学習としては、各種目のルールの確認、技能・体力の向上に努めた活動など行うこと。（予習復習：週1時間程度） ②各時間ごと課題に対するの振り返りを行い、次の活動に活かすことができるようにする。また、評価基準の1つであるレポート課題は提出期限を厳守すること。（最終回に添削後返却）											

授業計画			学習成果の評価
1回	授業内容	ガイダンス：運動の準備（ウォーミングアップ・クーリングダウンの方法、グループ分け）	運動の進め方・方法の理解
	学習成果	授業の目的・進め方（活動内容と授業内の運動の進め方）を理解し、実施できる。	
	予習復習の内容	運動の方法・進め方を確認し、今後の活動のために日常生活の活動量を増やす努力をする。	
2回	授業内容	レクリエーション活動（コミュニケーションゲームと運動の準備）	運動に対する心身の準備（レクリエーション活動への取り組み）
	学習成果	レクリエーション活動を通して、スポーツ活動を安全に取り組むための心身の準備を整える。	
	予習復習の内容	レクリエーションスポーツの役割を意義・理解し、今後の活動のための心身の準備を整える時間をつくる。	
3回	授業内容	ニュースポーツ（インディアカ）(1) ルール確認・説明、基本技能の習得、簡易ゲーム	ニュースポーツ（インディアカ）の取り組み
	学習成果	ルールを理解し、基本的な技能を習得し、簡易ゲームを実施できる。	
	予習復習の内容	ニュースポーツ（インディアカ）とは何か理解を深め、ルール・基本技能の確認をし、試合形式での活動をするための準備を整える。	
4回	授業内容	ニュースポーツ（インディアカ）(2) 試合形式での実施	ニュースポーツ（インディアカ）の取り組み
	学習成果	チームの課題を設定し、審判を含めた活動を試合の中で実践・展開できる。	
	予習復習の内容	ルール・基本技能の確認をし、試合形式での活動をするための更なる準備を整える。	
5回	授業内容	ニュースポーツ（インディアカ）(3) 試合形式での実施	ニュースポーツ（インディアカ）の取り組み
	学習成果	グループを変え、新たなチームの課題を設定し、審判を含めた活動を試合の中で実践・展開できる。	
	予習復習の内容	新たなチーム編成の中でよりよいチームワークを形成し戦術等工夫をする。	
6回	授業内容	ニュースポーツ（ソフトバレーボール）(1) ルール確認・説明、基本技能の習得、簡易ゲーム	ソフトバレーボールの取り組み
	学習成果	ルールを理解し、基本的な技能を習得し、簡易ゲームを実施できる。	
	予習復習の内容	ソフトバレーボールのルール・基本技能の確認をし、試合形式での活動をするための準備を整える。	
7回	授業内容	ニュースポーツ（ソフトバレーボール）(1) 試合形式での実施	ソフトバレーボールの取り組み
	学習成果	チームの課題を設定し、審判を含めた活動を試合の中で実践・展開できる。	
	予習復習の内容	ソフトバレーボールの試合の中でよりよいチームワークを形成し戦術等工夫をする。	
8回	授業内容	球技（種目選択）(1) ルール確認・説明、基本技能の習得、簡易ゲーム	選択した球技種目の取り組み
	学習成果	選択した球技種目のルールを理解し、簡易ゲームを実施できる。	
	予習復習の内容	選択した球技活動のルール、基本技能の確認をし、試合形式での活動をするための準備を整える。	
9回	授業内容	球技（種目選択）(2) 試合形式での実施	選択した球技種目の取り組み
	学習成果	グループを変え、新たなチームの課題を設定し、審判を含めた活動を試合の中で実践・展開できる。	
	予習復習の内容	試合の中でよりよいチームワークを形成し戦術等工夫をする。	
10回	授業内容	バドミントン・卓球 (1) 2つの種目のルール確認・説明、基本技能の習得、簡易ゲーム	バドミントン・卓球の取り組み 「レポート課題」心身の準備自分自身が興味のあるスポーツ種目の歴史・ルール・特徴など調べてレポート提出する。（提出期限厳守）
	学習成果	2種目のルールを理解し、基本的な技能を習得し、それぞれの簡易ゲームを実施できる。	
	予習復習の内容	ルール・基本技能の確認をし、試合形式での活動をするための準備を整える。	
11回	授業内容	バドミントン・卓球 (2) 基本技能の練習、試合形式での実施	バドミントン・卓球の取り組み
	学習成果	試合の流れを理解し、審判を含めた活動を試合の中で実践・展開できる。	
	予習復習の内容	ルール・基本技能の確認をし、試合形式での活動をするための準備を整える。	
12回	授業内容	バドミントン・卓球 (3) 試合形式での実施	バドミントン・卓球の取り組み
	学習成果	仲間と協力して、審判を含めた活動を試合の中で実践・展開できる。	
	予習復習の内容	グループ分けの方法について検討し、試合を円滑に進めるための方法を検討する。	
13回	授業内容	バドミントン・卓球 (4) 試合形式での実施（グループごとに対戦相手を設定）	バドミントン・卓球の取り組み
	学習成果	仲間と協力して試合の運営管理、審判を含めた活動を試合の中で実践・展開できる。	
	予習復習の内容	試合の中でよりよいチームワークを形成し戦術等工夫をする。	
14回	授業内容	バドミントン・卓球 (5) 試合形式での実施（グループごとに対戦相手を設定）	バドミントン・卓球の取り組み
	学習成果	仲間と協力して試合の運営管理、審判を含めた活動を試合の中で実践・展開できる。	
	予習復習の内容	試合の中でよりよいチームワークを形成し戦術等工夫をする。	
15回	授業内容	バドミントン・卓球 (6) 試合形式での実施（グループごとに対戦相手を設定）	バドミントン・卓球の取り組み
	学習成果	各個人、チームごとに活動に対する総合的な振り返りをする。	
	予習復習の内容	試合の中でよりよいチームワークを形成し戦術等工夫をする。	